

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	山口大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ヤマグチダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F135110110054
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	山口県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立大学
	科目名	就業体験学習
	学部・研究科等名	農学部
	担当教職員名・役職	荊木 康臣・教授
	受講者数実績年度	令和2年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	6
	受入企業等数	8
	受入企業等名	山口県環境生活部, 山口県総務部, 山口市市民活動支援センター, 寺岡有機醸造株式会社, 宇部蒲鉾株式会社, 株式会社花の海, 有限会社朝日屋, 愛媛県農林水産研究所果樹研究センター
	インターンシップの分類	10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは, 就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事 2.企業等における課題の解決(例: ワークショップ, PBL型プログラム, 課題解決ワーク, 課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	令和2年度は8企業等(官公庁含む)で就業体験を実施した。就業の内容はそれぞれの受入先によって異なり, 基本的には受入先における通常業務への従事やワークショップ等への参加を行った。
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け, シラバス等において, インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど, 体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは, 専門教育科目として実施している 6.当該インターンシップは, 選択科目として実施している 8.当該インターンシップは, 休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学 学部2年 大学 学部3年
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学 1単位 大学 2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	本科目では, 学生が企業等において, 自らの専攻, 将来のキャリアに関連した実習あるいは研修的な就業体験学習を行うことを目的としており, 学部2・3年生を対象に原則として夏季休業期間中に実施している。なお, 単位数については, 就業体験学習の時間が40時間以上80時間未満については1単位とし, 80時間以上については2単位としている。

要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	インターンシップ終了後、企業から書面により参加学生の実習態度等の詳細や大学への要望等についての聴き取りを行っている。
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	インターンシップの趣旨や目的の理解や準備等に係る全学説明会等に学生を参加させている。
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	就業体験と就業体験から習得したこと（特に、今後の就職、職業選択、キャリア形成等に活かせるもの）について振り返る目的で、就業体験学習を終了した学生は、終了後2週間以内に「就業体験学習成果報告書」を作成している。
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	インターンシップ終了後、企業から書面により参加学生の実習態度等の詳細や大学への要望等について聴き取りを行い、学生の指導に役立てている。	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
4-3.上記回答内容に関する詳細	インターンシップ参加前に志望動機等を明確にするため「就業体験学習履修申請書」を提出させ、参加後に活動の成果や就業体験から習得したことを「就業体験学習成果報告書」として提出させている。また当該申請書や報告書は学部内の委員会において確認を行っている。	
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	4.その他
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	就業体験学習の実施期間は、原則として、40時間以上としている。
5-3.上記回答内容に関する詳細	就業体験学習の実施期間を、原則40時間以上としているため、結果として連続した5日間以上の就業体験となっている。	
6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい	

要素⑥	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	就業体験の終了後に企業等から、「就業体験学習報告書」（就業体験学習の実施期間及び内容を記載）及び「就業体験学習評定書」（自主性や責任感、勤労意欲の5段階評価や就業体験学習に係る評定を記載）を提出してもらっているほか、大学への要望等も確認している。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	<a href="http://www.agr.yamaguchi-u.ac.jp/agakumu/gakumuindex.html">http://www.agr.yamaguchi-u.ac.jp/agakumu/gakumuindex.html</a> ※インターンシップ単位認定手続きについて（学内限定）
問い合わせ先	大学等名	山口大学
	担当部署名	農学部学務係
	担当者役職名	係長
	担当者氏名	田中尚子
	電話番号	083-933-5811
	メールアドレス	aggakmu@yamaguchi-u.ac.jp